



戦略的レベルから事業レベルの意思決定まで途切れなくインパクトアセスメント(IA)を適用することで、IAは各国のSDGs達成に寄与できる

著者

Maria Partidario
Rob Verheem

和訳：浦郷昭子

FASTIPS

No. 19 | May 2019

インパクトアセスメントと持続可能な開発目標

Impact Assessment and the Sustainable Development Goals (SDGs)

持続可能な開発目標(SDGs)は、経済・社会・環境という持続可能な開発の3つの分野のバランスをとるよう、17のゴール、169の目標と230の指標が示されている。SDGsはミレニアム開発目標(the Millennium Development Goals: MDGs)を引き継ぎ、置き換えられた。SDGsは、国連文書「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に示され、2015年国連総会の特別セッションで各国首脳に承認された。

MDGsと異なり、SDGsは低・中所得国だけでなく、すべての国で適用できる。SDGsは持続可能性の環境・社会・経済的側面を、地球保護・貧困撲滅・繁栄という用語で定義している。SDGsで強調されていることは、SDGの計画・行動・モニタリング・評価を地球レベルから国家レベルに落とし込むことである。SDGsを承認した国は、世界の野心的ゴールと目標を基に自国の目標を策定し、進捗と達成状況をモニタリングしなければならない。SDGsは「開発」に重点を置く一方、「人権」と「天然資源保護」にも重点を置いている。

SDGsのゴール・目標・指標は、来る将来が持続可能な開発へ向かうよう、エネルギーの方向性をガイドするよう設定されている。政府・民間企業・市民すべてが2030年までにゴール達成のために努力しなければならない。インパクトアセスメント(Impact Assessment: IA)には、EIA、SIA、SEA、HIAなど、SDGs目標達成のため有効なツールがあり、これらツールはMDGsよりもSDGs達成に効果的である。IAは既に多くの国で政策や制度として運用されているため、開発計画や意思決定で持続可能な開発を行う上でIAを中心に据え、統合的に扱えるようになれば理想である。

より深く知るために

GRI, UN Global Compact and WBCSD. 2015. SDG Compass - A guide for business action on the SDGs. www.sdgcompass.org

Hacking, T. 2019. The SDGs and the sustainability assessment of private-sector projects: Theoretical conceptualisations and comparison with current practice using the case-study of the Asian Development Bank. *Impact Assessment and Project Appraisal* 37(1): 2-16.

Nilsson, M., Griggs, D. and Visbeck, M. 2016. Policy: Map the interactions between Sustainable Development Goals. *Nature* 534: 320-322, doi:10.1038/534320a

Nilsson, M. and Persson, A. 2017. Policy note: Lessons from environmental policy integration for the implementation of the 2030 Agenda. *Environmental Science and Policy* 78:36-39

www.un.org/sustainabledevelopment/sustainable-development-goals/

知るべき五つの重要なこと

1. 世界SDGフレームワークは、国家開発政策・プログラム・プロジェクトを変えていくことになる。
2. 多くの国ではSDGsを自国の政策の枠組みの中に落とし込んでいる。このプロセスにIAのツール群が入り込む余地が大いにある。
3. SDGs目標を用いることで、IAは「プロセスや影響から考えていくもの」から「目標を達成するもの」に変わっていきける。更にSDGs目標を用いることで、ばらばらに進化したIAツールを統合して計画や意思決定に生かすことができる。
4. IAは、SDGフレームワークの確実性と現実的意味合いを強化する。例えば、戦略的持続可能性アセスメント、IAベースの環境・社会・健康管理計画で用いられる様々なタイプのモニタリングなどである。
5. 民間企業は、IAの中でSDGフレームワークを使うことで、人権にかかわることなど企業リスク・企業責務をどのように管理すべきかが見えてくる。

実行すべき五つの重要なこと

1. 国家開発政策・プログラム・事業の意思決定の計画基盤としてのIAを強化するため、SDGフレームワークを使うこと
2. “自国のIA制度・政策”と“SDGベースに策定する政策や施策”をうまく協調・調整する方法を探し、SDGs目標と指標が意思決定プロセスに確実に使われる方向を目指すこと。
3. IAガイドラインにSDGsの方針や概念を組み入れるよう支援すること。SDGsに基づいたセクター毎のIAガイドラインに改訂し、IAとSDGsの関係にハイライトした見本となるような事例を作り上げること。
4. 個々の事業や計画に合わせSDGs指標を落とし込み、影響を受ける可能性のある生態系やコミュニティにとって「受け入れ可能な影響の上限」と「重要なリスク」について言及すること。
5. 極端に厳格にしたり強い指示としないこと。すべてのSDGsがすべての状況に適合しているわけではない。場所の特性に応じた形で持続可能な開発を検討することで、IAで行うべきことがシンプルに厳選される。

参考事例

- ある鉱山会社は、鉱山操業とSDGsの関係を考え、自らの役割、責務、機会を整理した。IAsはSDGsを鉱山操業の個別の状況に応じて統合するためのアクションを見つけるための重要なツールであると認められた(CCSI et al., 2016¹)。
- SDGs6(清潔な水と衛生)の目標と指標は、2015-2021ペルー国国家下水道計画のSEAで使われた戦略的参照フレームワークに取り込まれた。同様にSDGsの目標と指標は、カボベルデの水と下水道のための国家戦略計画のSEAでも使われた。ペルーの場合、戦略的計画の複数案に対し、国のSDG6の目標にどれだけ合致するかという分析を行っている。²
- SDGsはルワンダの流域計画のSEAのステークホルダー参加型スコーピングのベースに使われた。最初の項目選定はSDGsの大項目に沿って行われ、次に大項目の下位の指標を参照しながら項目の優先順位付けを行った。その結果、SDGs15と6が最も優先度が高いものと位置づけられ、SEAと流域管理計画のビジョンと目標設定の基盤となった。³

1 Columbia Center on Sustainable Investment, UNDP, UN Sustainable Development Solutions Network, and World Economic Forum (2016). White Paper: Mapping Mining to the Sustainable Development Goals: An Atlas.

2 MINAM 2016. Informe Ambiental sobre el proceso de Evaluación Ambiental Estratégica (EAE) al Plan Nacional de Saneamiento (PNS) 2016-2021, INFORME TECNICO No 0019-2016-MINAM-VMGA-DGPNIGA/MROJAS, Lima, Peru.

3 NCEA, oral contribution

更に知りたいですか？

www.iaia.org/publications-resources
Downloadable Publications > FasTips

FasTipsに対するご意見や新たなトピックに対する要望はありますか？ 以下のメンバーに連絡してください。

Maria Partidario (mpartidario@gmail.com), FasTips Series Editor.

FasTips Task Force: Maria Partidario (Chair), Charlotte Bingham, Peter Croal, Lea den Broeder, Richard Fuggle, Raphael Mwalyosi, Julia Nowacki.